

参考資料

「蘭越と尻別川を考える会」について

住民説明会（平成21年 6月 15日）

■第1回 平成20年7月30日（水）

○尻別川の現状と課題

- ・ 設立にあたって（設立趣旨・規約）
- ・ 座長の選任
- ・ 河川法改正と河川整備基本方針策定までの経過、河川整備計画策定の進め方について事務局より説明
- ・ 尻別川の現状について説明

■第2回 平成20年9月11日（木）

○尻別川の現状と課題、将来の姿について意見交換

- ・ 第1回「考える会」意見の整理
- ・ 主だった意見について、事務局より追加説明
- ・ 将来の姿について意見交換

■第3回 平成20年10月9日（木）

○「考える会」意見のまとめ

- ・ 第2回「考える会」意見の整理

五十音順

地域住民

大谷上地区町内会
御成・初田・共栄連合町内会
栄地区町内会
豊国上地区町内会
豊国下地区町内会

名駒振興会
水上・大谷・淀川地区連合町内会
港連合町内会
三和連合町内会
蘭越地区連合町内会

市民団体

NGO「尻別川の未来を考えるオビラメの会」
NPO法人 しりべつリバーネット
ランコ・ウシ河川愛護の会
NPO法人 らんこしこラボレーション

河川利用

観光カリスマ
NPO法人 北海道アウトドア協会
北海道電力（株）倶知安水力センター
蘭越町土地改良区

蘭越と尻別川を考える会

経済産業

尻別川漁業協同組合
寿都町漁業協同組合
日本海さけ・ます増殖事業協会
ようてい農業協同組合
蘭越町商工会

教育・行政

北海道蘭越高等学校
蘭越町役場

「蘭越と尻別川を考える会」意見

■治水

- ・尻別川は整備されていると思うが本当に安全な川なのか。今の状態は整備途上である。
- ・最近、蘭越町（尻別川）では大きな水害はないが他地域では人命が奪われるような災害が起きている。備えが必要。
- ・河口の維持管理について、今後もよろしくお願いします。
- ・川だけでなく、山の保水力を上げる努力も必要。
- ・人間・森・山の関わりや文化の継承。林業を興していきたい。青少年の健全な育成に繋がってきたい。
- ・山が健全、川が健全であれば、耕地・海も健康になれると子供達には話している。
- ・地域の生命、財産を守るために、安心して住める川にしていきたい。
- ・昔より川は整備されてきており、その点では評価している。
- ・観光と川遊びについて携わっているが、人命が第一と考えている。
- ・山、川、海は密接に関係している。
- ・これからは気候変動もあり、雨が今までと違って、極端に強く降る。
- ・本州では鉄砲水で尊い人命が失われている。ここもそう言うことがないとは言い切れない。開発局で行った水の流れを良くするしゅんせつなども必要と思う。
- ・最近いわゆるゲリラ豪雨が頻発。今後の河川の整備計画に反映され、被害のない計画にしてもらいたい。
- ・床上浸水を4回経験している。堤防ができてからは被害がない。堤防のおかげだと思っている。
- ・水害を経験している。事業所の裏の堤防が崩れる写真を撮ったことがある。そう言う経験から、人命・財産のために改修をしてきたと思う。何のため改修するのか。人命・財産が先決。釣り人やラフティングは2番手か3番手で良いのではと思う。基本的には生命。堤防が整備され、本流の洪水はなくなった。
- ・川は、災害・憩いの場などいろいろな面がある。まず国民の生命を守ることが国の責務。
- ・山に木を植え、川を大事にするということにつきると思う。

■利水

- ・今年水が少なく、利水が厳しい。雪が少ないのでどうにもならないと思うが、水が足りない状況がここ3～4年続いている。異常気象になるとも言われているし、厳しい状況下にある。
- ・年々水は減っている気がする。
- ・清流日本一を維持して、全国一おいしい米を作るためにも水は大切である。
- ・水力発電所が6箇所ある。町にとっても大きな財産。
- ・水力発電所では、自然エネルギーを使って発電しており、一般的に環境に優しい。環境面では魚類に配慮し、魚道がある。

- ・「清流日本一」になっている。大谷揚水機から水をとっているが、日本一の水で米を作っていることを宣伝したい。
- ・川をきれいにするための啓蒙活動をやっていききたいし、やっていただきたい。
- ・利水で塩水が原因と考えられる被害が出ている。今までも若干はあったが今年は特にひどい。

■河川環境

- ・上流部では河床材が動かないという感覚がある。魚が隠れるところがない。
- ・夢は 1m を超えるイトウを各地から尻別川目指して釣りに来て、感激して帰るような尻別川にすること。
- ・イトウについては、30 年計画で進められており、今年は 14 年目である。昔のように 1m を超えるイトウを川に戻したい。
- ・利水者も、環境に配慮し、魚道をつけたり、濁水を発生させないことを考えている。
- ・山・川など良い環境であり、蘭越町民がうらやましいと感じた。高校の理科で小学校と一緒に水質調査をしている。蘭越で育った子供が蘭越を支えていくということが大事。
- ・今年は小学校と交流学習をしている。若い世代が蘭越と尻別川を考えてもらえるようになれば。
- ・蘭越米は美味しいと評判。どうしてこの地域で美味しいお米がとれるか、伝えていくことが大事。
- ・自然の良さ、大切さを伝えることが必要。心がくつろげ、豊かになる蘭越町になれば良いと思う。
- ・「蘭越と尻別川を考える会」は壮大な構想を持っているなど想っている。若い世代にも町の良さを知らせて行くことが大事。
- ・治水と河川環境は相反するものではなく、共存していけるものと考えている。イトウ・カワシンジュガイと言った自然を守るのも大事と思う。尻別川を全国に誇れる方策を、これまでの枠をこえて考えて行って欲しい。
- ・有識者は尻別川のイトウはもう絶滅宣言してもいい状況にあると言う。絶滅危惧種をつくらないうように良い知恵を出して、いい川をつくって欲しい。
- ・生態系の維持・保全については、専門家の意見を聞きながら行ってほしい。
- ・各町村で建物や人口が増えるということは汚水に繋がると思うので、下水道等の関連事業や関係機関、地域住民と連携しながら尻別川の良好な水質を保ってほしい。

■河川利用

- ・安全で安心して子供達が遊んでいける川になればと思う。
- ・川で遊べる川づくりをして、未来につなぐことが大事と思う。
- ・近年川の指導者養成講座で指導者をどんどん養成している。
- ・1 人でも多く指導者をつくるのが、川の健全な利用につながると思う。
- ・神戸の事故のようなことにならないよう、指導者は必要。
- ・神戸で 5 人亡くなっているが、当流域は大丈夫なのかと疑問に思った。
- ・「川の安全利用」について国は、具体的に何が出来るのか示して欲しい。